

地球環境を守るため、



私たちにできること

オゾン層の破壊や酸性雨の増大などの地球規模の環境破壊から、ごみや自動車の排気ガスなど私たちの生活に密着するものまで、環境問題は深刻になってきています。このかけがえのない地球を美しい姿のまま、次の世代に引き継いでいくために、私たちは何をしなければならないのでしょうか。

今月は、区内で環境問題に取り組んでいる人たちの活動をご紹介します。さあ、皆さんも一緒に地球を守りましょう！



緑豊かで潤いのある生活環境を守るために

新川地区では、日本一の桜並木づくりを目指して、平成十年から三年がかりで、新川沿いの延長七・五キロに約七百六十本の桜の苗木を植えました。これは、地域住民



◀並木沿いを歩きながらごみを拾う地域住民。あっという間に、ごみの山がいくつもできました



と企業、区のパートナーシップによるものです。そして、この並木の完成を記念して、昨年からは合唱祭などのイベントを開催しています。

そのうちのひとつが、地域の人たちで並木周辺を清掃する「さくら並木クリーンウォーク」。今年もたくさんの人たちが参加して、四月二十七日に行われました。地域に住む人々の長年の夢だった桜並木。私たちにはこの豊かな環境を守り続ける義務があるんです」と新川連合町内会会長の城木浩



見事に咲き誇った桜の花
▶マガモの卵も見つかるほど自然が残る河川敷



いちは、責任感あふれる表情で話します。

みんなの協力で完成した桜並木は、このまちのシンボル。自然環境を守る気持ちを、地域に住むこれからの世代の人々へ、しっかりと引き継いでいくことでしょ。

札幌市や北区役所も率先して取り組んでいます

札幌市は、昨年十一月に「ISO14001」の認証を取得しました。事務室での日常的な活動のほか、道路や公園などの公共工事、清掃工場や下水処理場といった処理施設の運転管理など、全庁のあらゆる事務事業が対象。それぞれの項目に具体的な環境目的、環境目標を掲げ、職員一人ひとりが意識を持って取り組んでいます。

さらに、北区役所では独自の取り組みとして、潤いのある北区の街の実現に向け、住民組織などの環境保全活動を支援しています。